

こども若者★いけんぷらす
いけんひろば

～いま、そして、これからの環境問題や社会について思うこと～

報告資料

令和5年10月13日～11月6日（アンケート開催）
令和5年11月10日（オンライン開催）

目次

【いま、そして、これからの環境問題や社会について思うこと】

- 30年後の世界の環境はどのようになっていると思いますか
- 環境問題に生活を脅かされると感じたことはありますか
- 日本の環境問題に対する取り組みは進んでいると思いますか
 - 取組は進んでいると思うか
 - 具体的に進んでいる/進んでいないと思う取組



開催概要（アンケート）

テーマ	いま、そして、これからの環境問題や社会について思うこと
担当省庁	環境省
開催日時	令和5年10月13日（金）～11月6日（金）
開催方法	Googleフォームを用いたWEBアンケート調査
参加対象者	ぷらすメンバーのうち小学生世代から大学生世代
回収状況	<ul style="list-style-type: none"> 回答数104件
テーマ説明	<p>気候変動をはじめとする環境問題は、現在だけでなく将来世代の生活をも左右する社会課題であり、こども・若者を含めた幅広い世代の思いを受け止め、希望が持てる将来社会(持続可能な社会)をつくっていくことが重要です。こども・若者の声を聞き、政策への反映やこども・若者世代の意識の向上と取組促進の好循環につなげていきたいと思っています。</p>



開催概要（オンライン）

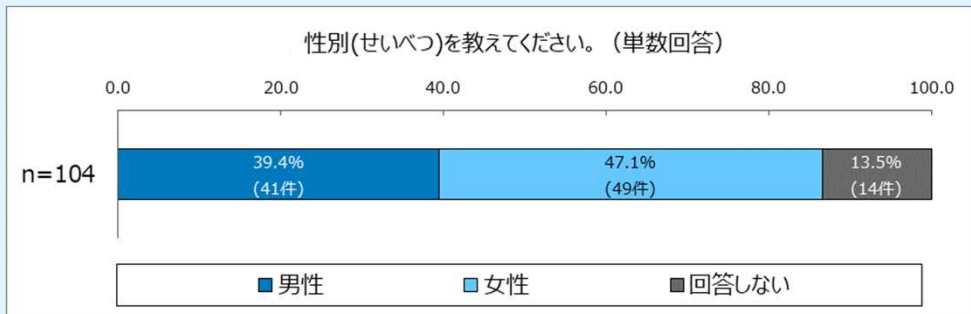
テーマ	いま、そして、これからの環境問題や社会について思うこと
担当省庁	環境省
開催日時	令和5年11月10日（金）18:00～20:00
開催方法	Webex（オンライン）
参加対象者	ぷらすメンバーのうち小学生世代から大学生世代
参加人数／グループ数	<ul style="list-style-type: none"> ○1班 小学生世代 3名 ○2班 中学生世代 2名 ○3班 高校生世代 4名 ○4班 大学生世代 2名
テーマ説明	<p>気候変動をはじめとする環境問題は、現在だけでなく将来世代の生活をも左右する社会課題であり、こども・若者を含めた幅広い世代の思いを受け止め、希望が持てる将来社会(持続可能な社会)をつくっていくことが重要です。こども・若者の声を聞き、政策への反映やこども・若者世代の意識の向上と取組促進の好循環につなげていきたいと思っています。</p>



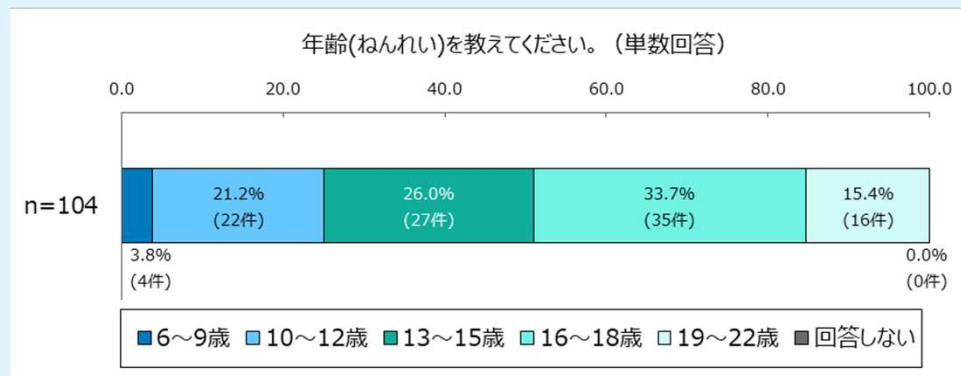
回答者概要

アンケート

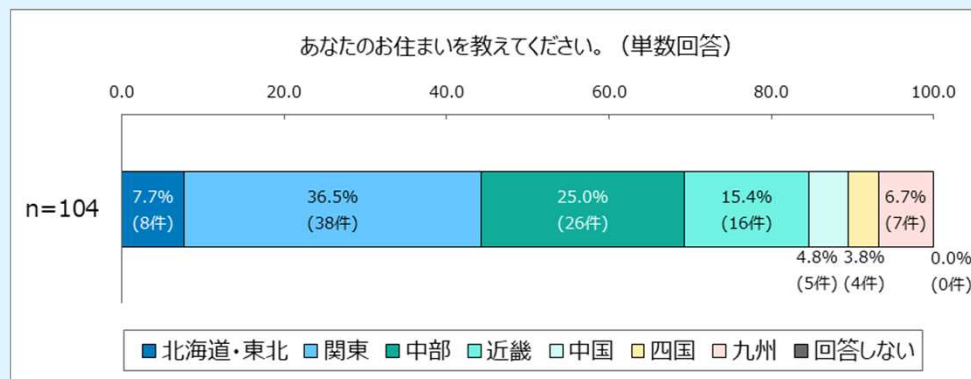
Q. 性別を教えてください。



Q. 年齢を教えてください。



Q. あなたのお住まいを教えてください。



Q. 30年後の世界の環境はどのようになっていると思いますか。

良くなっている

- アメリカや中国など、世界の大きな国がもっと環境に良いことをしたり国民に促すようなシステムを作ったとしたら、ある程度は良くなっていると思う。それでも地球温暖化は進んでいるのではないか。
- 今より多くの人々が環境に対して意識して生活できていると思う。
- 環境問題に取り組めば良くなっていると思う。
- 二酸化炭素が新しいエネルギーになっているといいなと思う。
- ごみを拾うロボットができると思う。
- ゴミ箱が増えていると思う。

今と変わらない

- 今よりも対策は進んでいるが、被害状況はあまり変わっていないと思う。
- 今とあまり変わらないと思う。エネルギー革命などが起きない限り、いくら企業や少数の人が頑張ったところで、戦争を始めとする分断や、多数派の人々の関心の無さが原因で特に前進しないと思う。
- 頑張れば、今の環境が続けられると思う。
- 企業や個人に環境の意識が今より浸透するとは思いますが、環境が良くなると思えない。

人々の意識次第

- 悪くなっていると思う。でも、今の私たちが頑張れば、良い方向に行かないにしても環境破壊を緩やかにできると思う。
- 消費者である私たちの意識次第だと思う。今後も経済的な側面を重視して安い商品の大量生産を続けると、どのような対策をしてもますます環境は悪化すると思う。消費者の意識が変われば、ニーズが変わり生産者側の意識も変わると思う。そうすることで生産消費のシステムが変わり、30年後の世界の環境は少し改善されると思う。
- このまま行けば、生き物が絶滅し、工場が人手不足になり、政治が活発ではなくなる。しかし、今、対策をしっかりとできれば未来は明るいと思う。



Q. 30年後の世界の環境はどのようになっていると思いますか。

悪くなっている

- 今より悪くなっていて、責任の所在が分からなくなると思う。
- 私たちの世代が、将来の世代になぜ何も行動を起こさなかったのかと責められつつ、過酷な地球環境の中で知恵を絞りながら生活している環境になっていないことを願っているが、それが1番現実的かとも思う。
- このまま進んでいき最悪な環境が出来上がると思う。
- 住めない地域が増えていきそう。
- 今よりもっと生活しづらくなっていると思うが、じわじわと進行してあまり気づけないのではとも思う。
- 対策が進めば若干の悪化で済むと思うが、このままでは気候変動やプラスチックなどの問題は悪化していくばかりだと思う。
- 今は田舎にたくさんある緑が少なくなってしまうと思う。また、都会の方が環境への配慮などが大きく、都会の方が緑が多そう。実際に田舎の少し発展しているところでは、そういった現象が起きている。
- このままいくと最悪。夏は暑く、冬は寒い。ごみが大量にあまり、資源は底を尽きる。今未来のことを考えるのが怖くて、エコでない行動をしてしまう。
- 食糧価格の高騰や異常気象の悪化など、悪い未来しか想像できない。

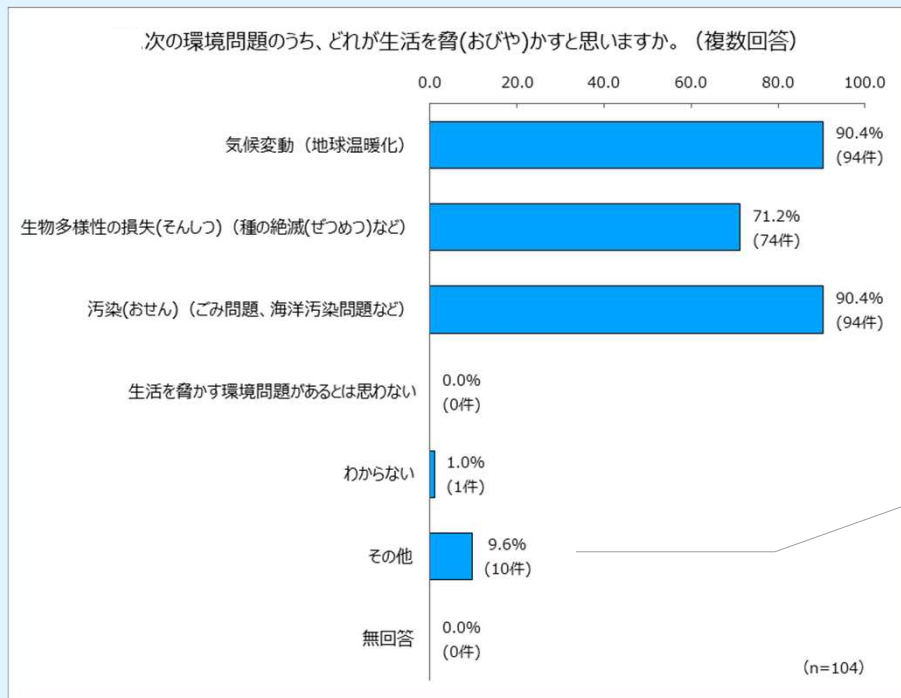


地球温暖化が進行している

- 気候変動などが酷さを増し、住みづらい地球環境になっていると思う。
- 環境汚染がさらに進み、地球温暖化が悪化していると思う。
- 温暖化が進んで生物多様性はとても失われていると思う。
- 温暖化が進み、干ばつが増えて生き物がたくさん減ることになると思う。
- さらに温暖化が進み、干ばつや洪水などの被害が増え、めちゃくちゃな環境になると思う。
- 地球温暖化が進み、今よりは確実に悪くなってしまっていると思う。しかしオゾンホールや大気汚染などの問題は少しずつ改善していくと思う。
- 春夏が短く、夏冬が長くなり、猛暑、極寒の季節になると思う。
- 今よりも夏の気温が上がって、台風の時のように、暑すぎて休校になる日が出てくると思う。
- 今でさえ暑くて暑くて冷房を使い、その冷房がまた地球温暖化を悪化させている。それでも木は切られ、開発が進むばかりで都市部の空気は汚れ、人間の質も落ちて、次の時代の中心部はやはりAIになってしまうのかなと思っている。

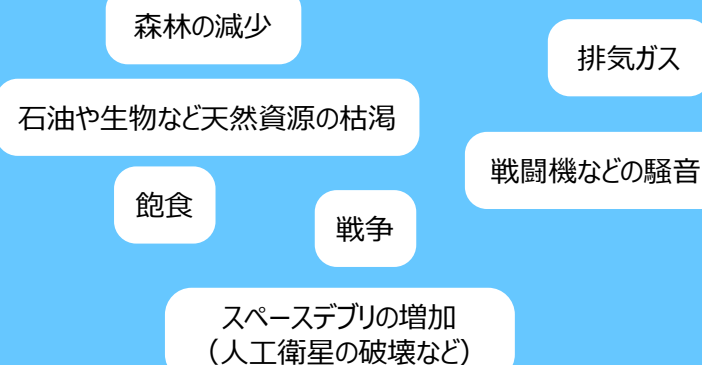


Q. 次の環境問題のうち、どれが生活を脅かすと思いますか。

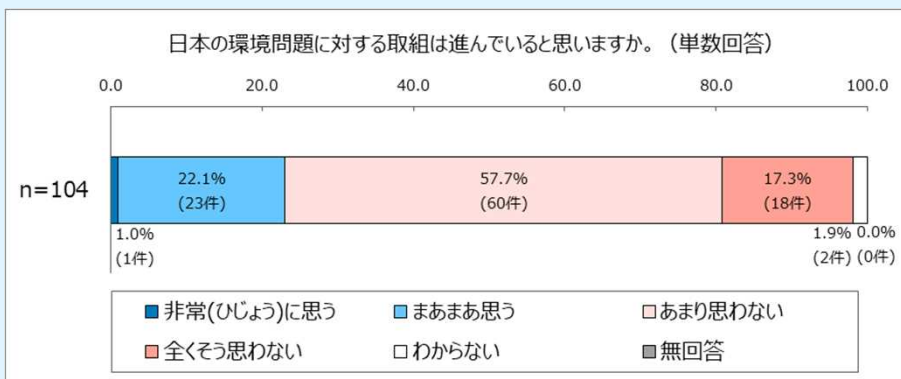


- 「気候変動(地球温暖化)」と「汚染(ごみ問題、海洋汚染問題など)」が並んで最も多く(90.4%)、その次に「生物多様性の損失(種の絶滅など)」が続きました(71.2%)。
- 「生活を脅かす環境問題があるとは思わない」は0.0%でした。

その他の内容



Q. 日本の環境問題に対する取り組みは進んでいると思いますか。



- 「あまり思わない」が最も多く(57.7%)、次に「まあまあ思う」(22.1%)が続きました。
- 「あまり思わない」「全くそう思わない」と取組が進んでいると思わない意見が回答全体の75.0%となりました。



Q. 30年後の世界の環境はどのようになっていると思いますか。

地球温暖化が進行

- 地球温暖化が進んで、北極の氷が解けて無くなるかもしれない。また、アフリカで干ばつが酷くなり、食料が育たなくなって国連も手に負えない状況になっているかもしれない。(小学生)
- 二酸化炭素を増やしすぎたせいで地球温暖化になっている。北極の氷が解けないようにするためには、二酸化炭素を増やさないと心をかけた方がいいと思った。(小学生)
- いつか北極にいた動物たちはいなくなって、動物園でしか見られなくなるかもしれない。(中学生)
- このままのペースだと海面上昇で島が水没して、国が消えたりするのかなと思う。(小学生、中学生)
- 平均気温が高くなっていると思う。暑い日は45℃くらいになっているかもしれない。その影響で生き物が今よりいなくなっている。農業も出来なくなって、食べ物が人工的なものになっていそうで怖い。(中学生)
- 気候変動を見ると気温が上がっているのは明らか。夏がより暑くなると、日本でも熊谷あたりだけではなく他の地域でも40℃を超えていくことになる。そんな場所で人間は暮らしていけるのかという課題意識がある。夏の環境を想像すると、家にこもる人が多くなるのではない。散歩しているお年寄りや子どもたちも、熱中症のリスクが高くなって夏は見られなくなるかもしれないと思う。暑くなると自然災害のスケールも大きくなる。(大学生)

気候変動により環境が変化

- 風の流れや潮の流れが変化すると思う。ニュースで潮の流れが変わったことにより、伊勢海老が三重県ではなく、静岡県で取れたと聞いた。潮の流れの変化などに産業は次第に順応すると思うが、一次産業は適応することに時間がかかると思う。今と異なるものが育ったり、取れたりするのかもしれない。産業が環境の変化に適応する方法も考えていく必要があると思う。(高校生)
- 30年後の世界の環境について、いいイメージはない。ここ数年でも環境変化のニュースが多いので、30年後は地球の気温が上がって沖縄の生物が本州に生息したり、感染症が流行ったりしているなど変わっていきそう。現在の国のトップの方は30年後を考えた政策までは考えていないと思う。(高校生)



Q. 30年後の世界の環境はどのようになっていると思いますか。

環境に配慮した規制が強化

- 現在でも、企業・個人どちらに対しても、ガソリン車を販売しない、レジ袋やビニール袋は有料化する、などの環境に配慮した規制が増えている。国民の生活が窮屈になっていくのではないか。（高校生）

人口動態により自然環境が変化

- アフリカなどでは人口が爆発的に増えて、限られた土地を広げるために森林伐採が進行してしまうと思う。（中学生）
- 日本は少子高齢化で人口が減っているため、30年後には動植物が過ごせる場所が増えているかもしれない。（大学生）
- リモートワークが増えて田舎に引っ越す人が増えたというニュースを見た。ただ、田舎に引っ越すと田舎の自然を壊すことになるのではないかと。人口増といういい面はあっても、自然の側面での懸念や、コミュニティがぎくしゃくしてしまうのではという懸念がある。（大学生）

ごみ問題が進行

- 海にごみが大量に流されて溜まり、環境資源が無くなっていると思う。（小学生）

国・地域により環境問題に差

- 先進国と発展途上国で違いが出ると思うので、世界全体で環境が良くなるイメージはない。発展途上国の人口は増えるので、環境問題への意識よりも生活していくことが重視され、石炭など環境に配慮しないものを使用することがあると思う。（高校生）



人々の意識次第

- 環境はあまり改善されていないと思う。しかし環境問題に取り組む姿勢は改善されると思う。今の子どもたちが環境問題について教育されているので、環境問題に関心を持つ若者が増え、将来的には環境問題に取り組む姿勢は高まると思う。一方で、今まで壊してきた環境を取り戻すことは難しい。やはり環境保全より経済的な事情を重視する場面が多いので、環境が完全に回復するのは難しいと思う。（高校生）
- 人間が普段から環境に配慮し、SDGsをがんばれば、今と変わらないくらいには世界の環境は維持できると思う。（小学生）



Q. 環境問題に生活を脅かされると感じたことはありますか。

オンライン

地球温暖化の進行

- 熱中症で死者も出ている。夏は危険。(小学生)
- 暑いと外に出たくないと思うようになり、自分の行動が制限されることに驚きを感じた。夏休みに学校に行く日があったが、朝から熱いアスファルトの照り返しも強い。日焼けをするのも嫌なので、外に出ることにネガティブなイメージがついた。外に出る機会や楽しさが減ってしまった。(中学生)
- 熱中症で救急車で運ばれる人を見たり、光化学スモッグの問題があったり、暑さで虫が干からびているのを見たりする。周りの光景が一見普通に見えて、死んでいるのが嫌だと思う。冬のインフルエンザや細菌なども脅威だが、人間だけに影響があるもの。夏の脅威は、人間を支える生物がいなくなってしまうかもしれないところ。人間に対する医療が発達しても、他の生物が危機にさらされると、このままでは地球が減びるのではないかと感じる。(中学生)
- 数年前よりも夏は更に暑いように感じる。昔は夏休みに外で遊べたと聞くので、今後もっと暑くなると思うと生活が脅かされていると感じる。(高校生)
- 自分が小学生の頃には夏でもエアコンがなくても過ごせていたのに、今はエアコンがない生活は考えられない。また、設定温度を低くしても涼しくならないし、暑さでエアコン自体が壊れてしまうこともある。文明の利器が気候に追いついて行けないのが不安である。(大学生)
- 今年11月の異常気象を見てもそうだが、年々気候変動が進んでいると感じる。ヒートアイランド現象でかなり暑くなっている感じがある。(大学生)

気候変動の進行

- 集中豪雨により避難指示が出た時に、気候変動がおきているなと思った。ニュースでも集中豪雨の影響で水道や電気が止まるケースが多く取り上げられており、身近な問題だと思っている。(高校生)
- 少し郊外にあるコンビニに行ったところ、「電力ひっ迫のため電力を落としています」と張り紙があり、真っ暗でびっくりした。(大学生)

プラスチック問題

- 魚がプラスチックを食べて、人間がその魚を食べると体に悪い。(小学生)
- 学校の近くに海があるが、プラスチックが流れついているのを見ると海洋汚染の深刻さを感じる。海岸清掃に積極的に参加して学校で呼びかけをしたり、商品開発のプロジェクトを実施したりしているが、みんなの環境問題に対する意識を上げることが難しいと思っている。(高校生)
- レジ袋が自由にもらえなくなったこと。これまで普通に置いてあったストローがなくなっており、店員に言わないと紙ストローがもらえない状況になっている。(大学生)



Q. 環境問題に生活を脅かされると感じたことはありますか。

オンライン

こどもまんなか
こども家庭庁

身の回りの緑や自然環境

- マンションの清掃で、土の上に落ちた葉っぱに風を当てて掃除しようとしているのを見ると、そのまま残して肥料にすればいいのと思う。公園も癒しの場だったのに、枝や葉っぱが切られてしまっている。どうしてそこまでして木を切りたがるのか疑問。身の回りの自然を大事にしてほしい。私たちの生活も元をたどれば、ミズがないと土も育たないし、連鎖しているものを大事にしてほしい。(中学生)
- 都市には緑が少なく木陰が少ない。自分の地元だと、地主の家にあった屋敷林や、自分の家の周りがあった木陰が全て伐採されてしまった。地図アプリの航空写真で自分の住む町を見ても、近隣がはげ山だらけになってしまった。こどもの頃と比べても木陰が少なくなって、生活を脅かされている気がした。(大学生)
- 家の裏が山になっている。すごく緑が豊富だったのだが、竹や木が知らない間に伐採されていた。竹は、大雨の際には自然のダムとして頑張ってくれていたが、今は伐採されたので泥水が出てくることもあり、土砂崩れが心配。(大学生)



ごみ問題

- 自分の学校付近は人通りが多くて、ポイ捨てごみが多い。(中学生)

動植物・生態系の変化

- 小さいころ、沖縄の島にサンゴ礁を見に行ったことがある。数年後にテレビで同じ島を見たとき、そのサンゴ礁がなくなっていて衝撃を受けた。(中学生)
- 私が住んでいる地域では養殖業が盛んだが、最近海は調子が良くないと聞いた。周りに漁業に従事している人が多く、育てた貝を8割も捨てたことがあったり、捨てるために貝を取ったりすると聞いた。地域人口も少なく、漁業は厳しい状況であると聞く。(高校生)
- 最近熊が人里に下りてきている問題について、母親の知り合いが山の上でレストランを営んでいる中、猪に畑の野菜を食べられる被害が深刻らしい。そういうことがあると、おじいちゃんおばあちゃんにできることが体力的にも限られるのでますます過疎化が進むし、人がいなくなることで里山の荒廃が進んでいくと思う。(大学生)
- 人間だけではなく動植物もダメージを受けている気がする。自分たちは生態系から得られる利益である生態系サービスの上で生きている。例えば土は、川があふれても雨水が浸透して「緑のダム」の役割を果たす。しかし、今の河川の周りにはコンクリートなので、水があふれてしまい水害につながる。(大学生)



取組が進んでいると思うか

進んでいない

- そこまで進んでいないと思う。前に参加するとドリンクがもらえるごみ拾いイベントがあった。このようなSDGsの取組がもっと進めばいいと思う。(小学生)

よくわからない

- 環境に関するポジティブなニュースはあまり聞かないので、取組をよく知らない。(中学生)

他国と同じくらい

- 日本の環境問題への取組は、他国と同じくらいだと思う。SDGsに取り組もうとしているが、もっとがんばれば他国を追い越せるかもしれない。(小学生)

進んでいると思う取組

プラスチック使用の削減

- ストローがプラスチックから紙になったり、ビニール袋が有料になったりという身近な取組は知っている。(中学生)
- ビニール袋有料化でマイバッグを持つ人が増えたのを見て、人はお金で動くんだなと思った。(中学生)
- スーパーではマイバックが普及しており、プラスチックの袋を持たなくなってきた。(高校生)

ごみの削減

- 空港のチケットを紙ではなくアプリで表示するなど、ペーパーレス化が進んでいる。(高校生)
- ごみを出さない生活が増えたと思う。(高校生)

改善した方が良く思う取組

プラスチック使用の削減

- ごみ袋として使うためにレジ袋を購入する人が多いらしく、結局プラスチックごみは減っていないのではないかなと思う。国が考えた取組ではあるものの、抜本的な解決にはなっていないのではないかな。目先のプラスチックごみは減るかもしれないが、それだけでは大きな環境問題すべては変わらない。また、数年前まで森林伐採を気にしていたのに、今では紙ストローが推進されているのも心配になる。プラスチックの減少と森林伐採の減少の両方がうまくいこうとしないと、環境問題の解決は難しいと思う。(大学生)
- 他国はレジ袋を禁止しているが、日本はただ有料にしているだけなのであまり進んでいないと思う。(小学生)



進んでいると思う取組

ごみの分別

- ペットボトルを潰して廃棄できるようになったり、ラベルのないペットボトルが売られていたりする。(高校生)
- ごみの分類がされていないとごみ収集車がごみを持っていかないなど、環境問題に対する取組は進んでいると思う。(高校生)
- リサイクルの普及が進んできていると思う。リサイクルに対応しているお店が増えている。(高校生)

環境に配慮した製品の普及

- 買い物に行くと商品にエコラベルがついており、環境に配慮している商品が増えていると思う。本屋やスーパーでも環境に配慮した商品のコーナーができています。消費者が買い物をしやすい環境になっていると思う。(高校生)
- お昼に食べた寿司についていた箸に、「成長スピードが早い竹を使っている」と書いてあった。同じように持続可能なレジ袋やストローを考えられるといい。木だと成長に時間がかかるし、森林伐採の問題もあるので、そこを解決できるような案があるといい。全部禁止するのではなく、代替案を考えられるといいのではないかと。(大学生)

動植物の保全

- 自分の住んでいる地域は林が多く、野放しにされていることがあった。自治体と協力してNPOが林を買い取り、林の環境への貢献度合いを調査したことがあった。行政が入ることによって、林の状態や環境が変わったと思う。(高校生)



改善した方が良くと思う取組

ごみの分別

- ごみの分別について、まだリサイクルボックスの普及が進んでいないと感じる。燃やそうと思えば何でも燃えるごみとして捨てる事が出来てしまう。ペットボトルは中身が残っている状態で捨てる人や、カフェのテイクアウトのカップを入れるような人もいる。そういうごみがリサイクルできるものと混ざってしまうと、他のものもリサイクルできなくなってしまうと思う。リサイクルに対する意識が高くないと、効果的な対応ができないと思う。(大学生)

動植物の保全

- 環境省は数が減っている動物の所管をしていて、天然記念物の数を増やす取組をしている。天然記念物は文化庁の許可がないと動かせないため、連携して保護を進める必要がある。(大学生)
- 環境省は気候変動等には取り組んでいるものの、動植物や生態系については取組が遅れている感覚がある。動植物について扱う博物館や動物園、大学などの研究予算が足りない。以前、博物館でアルバイトをしていたが、木を調査しようとしてもお金がなくて10年に1回しか調査できないと聞いた。また、環境省には国立公園などを管理するレンジャーというプロフェッショナルがいるが、日本はそうしたプロフェッショナルの人数が少ない。(大学生)
- 銃やわなを扱えるレンジャーが少ないので必要。人と野生動物の共存や個体数調整を目指すワイルドライフマネジメント、共存調整のもとになるフィールドワークを行えるプロであるため必要だと思う。(大学生)
- 野生動物に携われる獣医師・看護師や、傷ついた動物のリハビリを行うリハビリテーターも必要。(大学生)
- 博物館での生物多様性の学術サポートにはバックアップが必要で、そのために自然史博物館が必要。(大学生)

Q. 日本の環境問題に対する取り組みは進んでいると思いますか。

進んでいると思う取組

農林業の推進



- 自分は過疎地域に住んでいるが、耕作放棄地が増えていて、農業に関心がある人を都市から誘致して、耕作放棄地を畑に生まれ変わらせる取組がある。地域の資源を有効活用し、地産地消を盛んにしようという取組が進んでいる。(高校生)

環境問題に対する意識・教育

- ごみ問題の解決や、教育の中で環境問題を教える取組は進んでいる。(高校生)



改善した方が良くと思う取組

農林業の推進

- 日本は木が多い国だが、逆に杉やヒノキが多すぎて困っている。竹も増えすぎて困っており、コンクリートの家を突き破るほど繁殖力が強い。木の使い方が上手くない。企業が木造ビルを作りたいということを考えていたりするのだが、木を使うということがなかなか進んでいない。木が余っている。(大学生)



環境問題に対する意識・教育

- 発電方法に関するエネルギー問題や車の二酸化炭素排出問題など、大きな課題について情報が錯綜していると思う。大きな課題についてどんな議論がされているか情報が入ってこない。例えば電気自動車が本当に環境にいいのかは不明であり、国がどのような方針を持っているかわからない。私たちの世代は新しい意見をSNSで知ることが多いが、SNSの情報は信憑性が低いので信頼できる情報が知りたい。(高校生)
- 最近では環境に配慮した商品や政策などがあり、目に見える形で環境対策が実施されている。しかし、外国と比べると、環境問題に取り組む人に対する日本での世間の雰囲気には改善の余地がある。また日本では環境に良い行動を誘発する仕組みがまだないと思う。(高校生)
- 二酸化炭素排出の問題については、環境への負荷よりも経済的理由による利便性が重視され、二酸化炭素の排出が進んでいるので改善した方が良くと思う。(高校生)